

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	StepUP蒔田通町教室		
○保護者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年11月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年11月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	未就学児から高校生まで幅広く受け入れを行っているので、学校や家庭などでは経験が難しい多角的な交流が出来る。周りを見る力や、周りに合わせる力等が身についてくる。また、高学年の児童は年下の児童に教えたり、譲ったり気遣う力といった社会性が身につく。	未就学児や中高生といった大枠の提供時間の区分分けを行っているが、多角的な交流が出来るように小学生や中高生などの他学年や異年齢児童を同時間に受け入れている。	これまで通り多少の他学年児童の同時間受け入れは行っているが、怪我や事故が無いように場所スペースの確保や、職員研修を定期的に行い、職員の支援スキルアップも図っている。また、児童同士の玩具の貸し借りなども、職員が間に入りつつ児童同士の交流も強くしていきたい。
2	SSTに注力した集団療育を行い、その中で運動トレーニングとコミュニケーショントレーニングを提供している。運動では、変換能力、定位、識別、リズム、バランス、連結、反応といった能力を、コミュニケーションでは、認知行動、健康生活、言語コミュニケーション、人間関係社会性に関するテーマを毎日毎時間固定化しない活動プログラムを提供している。	活動プログラムが固定化されないように常勤職員を中心にみんなで相談共有しながら、児童の特性や児童の年齢に応じプログラムを立案している。児童発達では行っていないコミュニケーショントレーニングでは、社会性の観点から個別で取り組みプリント学習や、チームで1つの事柄を進めていくグループワーク学習も取り入れ、最後にはみんなの前で発表も行っている。	その日、その時間にいる児童の特性や年齢に合った活動プログラムを職員全体で考え意見を出し合いながら相談共有し、児童同士の交流を通して社会性を得られるようなトレーニングや支援を行っていく。支援の統一を図るために、こまめに職員会議や研修を行い、児童の社会性の向上に尽力する。
3	公開トレーニングを行い、保護者様や別事業所の職員の方に広く見ていただき、児童の日頃の様子や成長を感じて頂いている。公開トレーニングで第三者の方々にも事業所の取り組みの評価も頂いている。	年に1度11月に1週間の公開トレーニングを行い、地域などに開けた事業所づくりを意識している。また、児童の社会性の向上を図り、家族参加型のイベントなどを開催し家族交流の機会や家族支援にも繋げている。	年に1度の公開トレーニングは、引き続き行い、新規の方が多く入会したタイミングでも追加で行うなど、回数や開催時期についても検討していく。また、専用のアンケート表なども作成しながら第三者の方の評価も頂きながらより良い事業所を目指していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎を行っておらず、保護者様のご都合や天候不良により保護者様の送迎が困難になり、定期的な利用が難しい場合が見られる。	SST療育目集団療育をトレーニング時間に沿って行っている為、児童のサポートに付く職員が多く必要になり、送迎を行える人員不足と、送迎を想定してみるとトレーニング開始時間に間に合わない。	ガイドヘルパーなどの事業所と連携ととりつつ、送迎困難な保護者様に移動支援をご紹介お伝えしていく。また、同法人内で送迎の行い方や仕方を検討し可能な限り保護者様の負担を軽減できるように努める。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が作れていない。	保護者様が望んでいないことも要因の大きな1つではあるが、StepUPのSSTトレーニングを週に1回のみ受けに来ていただく児童が多い為、土曜日などに地域交流をしようとするトレーニングが受けられなくなってしまいう児童が多く出てしまう。	祝日のイベントや、近隣の地域夏祭り期間中など、地域の方と交流できる機会を少しづつ作っていききたい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	StepUP両田通町教室
------	--------------

公表日 令和7年3月1日

利用児童数 38

回収数 27

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	0	1	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25	1	0	1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	5	1	10		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	0	0	2		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	2	0	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	0	0	1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	0	0	0	・性格をきちんと理解してもらっている。 ・面談時に話し合い、子どもに必要な支援計画を作成してもらっている。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	5	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	2	0	0	様々な活動があり、とても工夫されている。	運動トレーニングやコミュニケーショントレーニング共に、毎日、毎時間異なるトレーニングを常勤職員みんなで回しながら提供している。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	3	12	6	・必要だと感じない。 ・学校で交流もある為、必要性を感じない。	今後は近隣のお祭り等にも時間を作り参加していきたい。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	1	0	0	面談時、週次日報、口頭等で説明を受けている。	今後も時間をとり、事業所に関する様々な説明は丁寧に行っていくたい。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	0	0	0		契約時や面談時に説明するようにしている。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	12	5	0	・メールなどでご相談させていただいており、助かっています。	支援時間以外にお電話やメール等で保護者様の悩み事などをいただき、アドバイスや解決法などを提示しながらご家族様と共に支援を進めている。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができてきていると思いますか。	24	3	0	0	・帰宅時、週次日報等で詳細を教えてください。 ・メールなどでもご連絡をいただき、ありがたい。	送迎の際に本日の活動の様子をお伝えし、成長を共有している。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	2	0	0	・とても良く聞いてくれ、アドバイスももらえて感謝している。 ・面談などで、子どもに合った勉強法等も調べて教えてくれ、助かる。 ・行き渋りをしている際などに、優しく相談に乗ってくれた。	今後も保護者様の悩み事等に傾聴し、一緒に児童の成長を見守っていききたい。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	0	0	0		送り迎えに来てくださっている保護者様には、口頭で様子などをお伝えし、加えて週に1回週次日報として教室での様子を紙面で配布している。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	4	11	6	・特に必要性を感じていない。 ・保護者同士の連携はなくても良いと思う。	ゴールデンウィーク期間中に家族参加型のイベントを初めて開催したので、継続して頻度を多くしていきたい。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	3	0	3		
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	1	0	0		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	2	1	0	・教室の前にイベント予定等を張り出されており、それを見て子どもが楽しみにしています。 ・減っていると感じる。	今年度より教室前の立て看板にイベントチラシを掲示するようにし、スケジュール管理の側面からも今後も続けて行きたい。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	0	0			

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	5	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	3	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	3	0	1	・「楽しみ」という表現ではないかもしれないが、安心できる場所だと思っていると感じる。	子ども達がこれまで通り事故なく、怪我なく過ごしてもらえるように職員一同意識していきたい。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	2	0	3	・「楽しみ」という表現ではないかもしれないが、安心できる場所だと思っていると感じる。 ・毎週とても楽しみにしている。 ・イベントが大好きです。	楽しく通って頂けるように、日々の活動内容に加えてイベントなども多く企画していきたい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	3	0	0	・週次日報での様子は、とても参考にさせてもらっている。 ・本人に良い変化が見られているので、通わせて良かったと思っている。 ・送迎がないのが残念です。	

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		StepUP時田通町教室		公表日		令和7年 3月 1日	
		チェック項目		工夫している点		課題や改善すべき点	
		はい	いいえ				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	イベントなど場合によっては狭いと感ずることもあるが、活動スペースを区切るなど工夫をしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	二重チェックをし、配置基準を確実に満たすようにしている。児童人数に応じて職員を追加したりと、月途中でも変更をしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	6	フロアマットの色で各ゾーンを分け分かりやすいようにしている。スケジュールの見通しがもてるように1ヶ月先のカレンダーを掲示している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	静養スペースは、活動中の児童が気にならない位置に配置している。毎日、掃除消毒を行い、児童がお手洗いにいった後には必要に応じて職員が汚れていないかを確認している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	痲癩をおこした児童や、パニックになった児童は個室に、基本的に同性職員と入室し落ち着くまで使用することもある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	常勤職員を中心に朝礼や昼礼、終礼で反省や今後の対応などを話している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	3か月に1回管理者面談と、半年に1回児発管面談を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	公開トレーニングを行い、近隣の事業所の方や保護者様に来てもらい、取り組みなどを見ていただいている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	月に1度様々な内容の研修を受けており、非常勤職員など参加できていない職員にも後日伝達研修として研修を行っている。その他の研修も同様に対応している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	管理者、児発管を中心にその他の職員も含めて支援プログラムを作成し公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	半年に一回アセスメントシートとして保護者様にニーズや課題を記入していただき、それを基に保護者様と面談を行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	毎月支援会議では常勤職員は必ず参加し、子ども一人一人のアセスメントを行い、計画の作成をしている。また、非常勤職員にも紙面で共有している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	全職員が放課後等デイサービス計画はいつでも見られるようにしており、目標を踏まえながら日々の共有や打ち合わせを行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	ガイドラインはいつでもすぐに見られるようにしており、保護者様に説明しながら本人支援や家族支援等を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	困った時は相談、共有をしている。また、職員で意見を出し合いながら最善の案を採用するようにしている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	運動トレーニングやコミュニケーショントレーニング共に、毎日、毎時間異なるトレーニングを常勤職員みんなで回しながら提供している。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	個別活動では微細運動で折り紙を折る作業や、コミュニケーショントレーニングで個別のプリント学習も行い、集団活動では、チームでのゲームや運動、グループワークを行っている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	常勤職員、非常勤職員みんなで必ず今日の活動の打ち合わせや、気を付ける事など共有を行っている。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	常勤職員は終礼時に1日の振り返りを行っているが、非常勤職員は退勤の時間がそれぞれ異なるため、全体ではなく各々で振り返りを共有し、後日全体で共有している。	常勤職員は終礼時に1日の振り返りを行い、非常勤職員も可能な限り全体で行う。難しい場合は振り返りを後日全体で共有していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	個別支援計画書の目標に基づきながら、日々欠かさず支援の記録をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	毎月支援会議を行い、児童一人に対して少なくとも半年に一度の放課後等デイサービス計画の見直しを保護者様との面談を通して行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	2	ガイドラインはいつでもすぐに見られるようにしている。	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」が理解できていない職員がいれば、全職員に分かりやすく説明をしていく。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	8	0	強制的なトレーニング参加ではなく、自発的なトレーニング参加を促している為、参加の有無も自分で判断し自己決定能力を養うるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	職員間で誰がふさわしいか話してから参加者を決めて、適宜参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	7		対象児童が少ない為、今後はもっと連携を増やしていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	3	送迎を行っていない為、送迎時などの連絡等は学校とはない分、保護者様にご協力をしていただき、年間計画や学校行事等を教えていただいている。	必要に応じては、各学校にご連絡し連携をとってきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	4		計画書の共有のみで止まっていたので、その他園の様子等困りごと等も情報共有していきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3		卒業後はその後の関連機関との連携が取れていないので、保護者様とも連絡をとりつつ3方向で連絡をとってきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4	常勤職員は中部療育センターの見学会や研修に毎年職員を代えながら参加している。また、その後には伝達研修を全職員参加の会議時に報告している。	常勤職員に限らず、非常勤職員も機会があれば積極的に参加していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	8		必要としない保護者様も多く、現在は機会がないが近隣のお祭りなどにイベントとして行く計画なども考えていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2	連絡会など欠かさず参加している。	連絡会など参加しているかどうかなどを非常勤職員などは知らない為、しっかりと説明していく必要がある。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時に本日の児童の様子等を必ずお伝えし、加えて毎週1回週次日報として児童の様子が書いているものを書面で配布している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	支援時間以外にお電話やメール等で保護者様の悩み事などをいただき、アドバイスや解決法などを提示しながらご家族様と共に支援を進めている。	他施設とも連絡を連携しながら、イベント等企画しながら家族支援プログラムを進めていきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時にご来所していただき、必ず対面で約1時間程度時間をとって丁寧に説明をしている。また、変更時も書面を作成し説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	保護者様の意向に出来る限り沿い、放課後等デイサービス提供を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	書面で同意を必ず得ている。また、個別支援計画書は中高生など理解が可能な児童には直接説明をしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	支援時間以外にお電話やメール等で保護者様の悩み事などをいただき、アドバイスや解決法などを提示しながらご家族様と共に支援を進めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	8		保護者会等を希望しない方が多いが、家族参加型のイベントを多く企画し、ご家族同士の交流できる場を検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	クレーム対応の研修を行い、適切な対応に努めている。困った際は、職員で共有し相談し迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	毎日ブログの更新、毎月通信の配布を行っている。また、イベントチラシを都度配布し、教室内と教室外に掲示をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	研修を行い、ブログなど顔出しのチェックなどは、職員2.3人で行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1	イラストカードや紙面に文字媒体で記載して提示するなど視覚支援等を行っている。	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	公開トレーニングを行い近隣事業所や、区役所にチラシを配布し第三者の目が入るように開けた運営をしている。	公開トレーニングの他にも地域の方と一緒にできることを模索していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	各マニュアル等はいつでも見ることのできる場所に置いてある。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	年に2回児童と職員と一緒に避難訓練を実施し、別でビル一体となって職員のみ避難訓練、避難器具の使い方など定期的に行っている。	職員みんなでBCP作成の話し合いを行い、都度見直しを行っていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	半年に一度新しく受診したかなどを、紙面と口頭でお聞きしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	6	事前にアセスメントをしアレルギーがある児童に対しては、対応方法を保護者様と確認している。	必要に応じて、保護者様と連絡をとり医者との連携も検討していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	4		安全計画を都度職員で見直し、より良いものを提供していきたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	サイン欄を設けて全員が確認したことがひと目でわかるようにしている。また、全職員参加の会議で改めて振り返るようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	現在該当者がいないが、身体拘束等の研修や話し合いは行っている。	